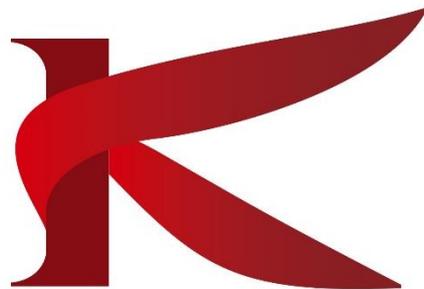


100th
KONAN WOMEN'S ACADEMY

2020 年度事業計画



KONAN WOMEN'S
ACADEMY

学校
法人 甲南女子学園

目次

I. 本年度方針 事業計画 2020	1
II. 2020 年度の主要な取組み	1
1. 甲南女子学園創立 100 周年について	1
2. 国際学部の開設について	1
3. 大学教育改革「未来への実践力」の取組み	2
4. 第 5 次中期計画の策定について	2
5. 大学入試改革と中高・新学習指導要領への取組み	2
6. 大学ガバナンス改革について	2
III. 大学・大学院	3
1. 教育体制	3
2. 研究体制	8
3. 学生支援活動	9
4. 高大接続・学生募集	10
5. 環境整備	11
6. 地域連携・社会貢献活動	11
7. 管理運営	12
IV. 中学校・高等学校	13
1. 教育課程	14
2. 授業力向上	14
3. 総合学習	14
4. 生徒指導	15
5. 国際交流	15
6. 進路指導	17
7. 生徒募集対策	17
8. 施設・設備	17
9. 高大連携	17
10. 部活動	18

I. 本年度方針 事業計画 2020

2020 年、甲南女子学園は創立 100 周年を迎える。あらためて建学の精神、教育理念、校訓に立ち返り、理想と理念とを継承しつつ、高品質の教育提供を第一義的な学園の目標とする。女性教育の新たな地平を切り拓き、次の 100 年紀にむけ関西における女子高等教育の拠点校としての地位を確立する。

大学においては、全学的な教学マネジメント体制を構築して内部質保証^{※1} 活動を展開し、「未来への実践力」を育む教育実践を通じてさらなる教育の質向上を目指す。最終年次となる第 4 次中期計画を仕上げ、教育で選ばれる大学という目標を達成する。中高では伝統の文化を継承発展させつつ、さらに教育の質を高め、その成果で生徒の未来実現を支援する。

引き続きく変わる、変えるを文化として、学園として中高大の連携をさらに強め、学園一体の教育を強化するとともに、確実な入試戦略に立脚した自律的健全経営で新たな 100 年紀への基盤を固め、現在と未来社会からの要請に添えていく。

(※1) 内部質保証：大学自らが活動の質を確認、保証し、その一連の方法や結果を社会に示し、大学の教育研究活動の質や学生の学修成果の水準等を自ら継続的に保証すること。

II. 2020 年度の主要な取組み

1. 甲南女子学園創立 100 周年について

- 「輝く力、輝かせる力。」のコミュニケーション・ステートメントのもと 100 周年記念事業活動とブランディング活動を推進する
 - ・ 100 周年記念事業活動
 - 学園創立 100 周年記念式典・祝賀会の実施
 - 将来の進路に向けて、卒業生や上級生が下級生を指導するピアサポート体制(通称：ミライサポート)を推進
 - 国の修学支援新制度導入に合わせた奨学金支援の強化
 - 交換・認定留学 13 プログラムに加え、新たにアメリカ 3 大学および韓国 1 大学との連携スタート
 - 大学正門を整備し安全面の強化を第一とし歩車分離を図る
 - 老朽化が激しい清友園の全面改修を実施(バリアフリー化やエレベータ設置等)
 - 学園創立 100 周年記念募金の推進
(2019 年 12 月末現在、法人 49 件・個人 797 件、合計約 1 億 8,100 万円)
 - 10 万円以上の御寄付を頂戴した方々の銘板(御芳名板)を作成・設置等
 - ・ ブランディング活動
 - 学園コミュニケーションマークの制定と PR 運用
 - 100 周年記念の取組みを網羅した Website の充実
 - 『甲南女子学園 100 年史』および副読本の完成
 - 中高生・大学生・卒業生による 100 周年記念音楽会の開催
 - 学生・生徒×地域・社会連携プロジェクトの推進等
 - 100 周年記念メッセージ(在学生・卒業生から世代を超えたメッセージを集める)



2. 国際学部の開設について

- 2020 年度に国際学部を開設、国際英語学科及び多文化コミュニケーション学科がスター **国際学部**
 - ・ 希望者全員留学の方針のもと、留学や海外研修へ参加を積極的に支援
 - ・ 国内の国際交流コミュニティで活動的に学び、志望するキャリアに応じたグローバル力を身につける



◆ 国際英語学科

- ・卒業時までには全員がCEFR^{※2} B2 レベル以上を目標とする新カリキュラムの運用
- ・一人ひとりの能力とニーズに合わせた英語プログラム e-pro (イープロ) を開始

◆ 多文化コミュニケーション学科

- ・グローバルな就業体験やチームでのプロジェクト活動などに参加
- ・グローバル・シティズンシップ・プログラム^{※3}を開始
- ・“e-space”^{※4}や“D-commons”^{※5}を活用し授業と連携した活動及び学生の自主的な活動を支援

(※2) CEFR: Common European Framework of Reference の略、ヨーロッパ言語共通参照枠であり、外国語の熟達度を 6 レベルに分けて評価する。

(※3) グローバル・シティズンシップ・プログラム: 長期/短期留学、国内外における国際的なインターンシップ、ボランティア、プロジェクト活動等、体験プログラムの総称。

(※4) e-space: 常駐する専任アドバイザー教員のもと授業と連携したサポートが行われ、日々の予習・復習からイベントの準備、ネイティブスピーカーとの交流など、学生が自分のスタイルで英語を学べる場所

(※5) D-commons: 多文化コミュニケーション学科のコモンルーム

3. 大学教育改革 「未来への実践力」の取り組み

○ 目指す方向: 本学で学んだ学生一人ひとりが成長を実感し、自身の成長を自分の言葉で語ることができる

- ・学生の視点で、学科の学びを次の要点から振り返り甲南女子大学の教育の質を高める
 - 判断に必要な知識を学び、それが使えるようになること
 - 他者との関係を築くこと
 - 責任ある発言や行動に導く思考力を身につけること
 - 自律的に判断し、責任ある発言と行動をする人間に成長する



未来への実践力コンセプト

4. 第5次中期計画の策定について

○ 2021 年度から開始する第5次中期計画(3か年計画)を策定

- ・第1次～第4次を総括、本学の現状を明確化
- ・大学において、「未来への実践力」を柱とする基本方針を2020年9月に提示
- ・2021年3月に計画案を理事会で決定



第5次中期計画

5. 大学入試改革と中高・新学習指導要領への取り組み

○ 改革の目標「学力の3要素を確実に育成・評価する」に対応

- ・知識・技能
 - 教員の授業力向上: 質の高い理解を図るための学習過程の質的改善(主体的・対話的で深い学び)
 - 生徒の英語四技能向上: ICTを活用した授業、資格・検定試験受験の推進
- ・思考力・判断力・表現力
 - 単なる知識の入出力に終わらない授業方法、考査の出題方法の工夫、教育活動の多くの場面で生徒に「振り返り」を言語化させることを推進(ICTの活用)
- ・学びに向かう力、人間性など(主体性・協働性・多様性)
 - 「多面的・総合的評価」に対応した生徒のポートフォリオ作成を推進(ICTの活用)、JAPAN e-Portfolioへの入力、課題探究活動、課外活動(部、委員会等)、校外活動(ボランティア、コンテスト等)

6. 大学ガバナンス改革について

○ 「学長・学部長・学科長」のガバナンス体制における「学部長・学科長」のラインを強化

- ・中期計画、事業計画等の策定に際し、学部長と学科長の役割・権限を明確化
- ・中期計画の学科計画に対して、学部長の考えを反映できるプロセスに改善
- ・学部・学科運営の基本となる教員組織、カリキュラム等の編成内容の見える化を実施

Ⅲ. 大学・大学院

1. 教育体制

(1) 学部教育

文学部

- 学部全体
 - ・「人間を総合的に理解する」を教育目標とする
 - ・多様な文化に関する知識、ならびに幅広い視野の獲得、さらには思考力や能動的な行動力の育成を推進
- ◆ 日本語日本文化学科
 - ・ホスピタリティ分野と視聴覚コミュニケーション分野における教育の質的向上を目指す
- ◆ メディア表現学科
 - ・「考える力」「テーマを見つけ出す力」を伸ばす教育を積極的に推進



視聴覚コミュニケーション研修

国際学部

- 学部全体
 - ・新たな留学制度および奨学金制度の確立
 - － 学科および関連部署から成る留学ワーキングチームによる運用面の細部の検討
 - ・新たな初年次教育の実施と評価
 - － 4年間を見据えた効果的な履修指導の実施
 - － 留学への動機づけ促進のための情報提供
- ◆ 国際英語学科
 - ・新カリキュラムへのスムーズな移行
 - － オンライン英会話教材の使用など、英語力強化のための取組み
 - － グローバル・ビジネス・プログラムなどキャリア支援活動
 - － e-space の学生コミッティーの活動支援
- ◆ 多文化コミュニケーション学科
 - ・多様性から行動力、協働力、仕事力を生み出す教育の実践
 - － リーダーシップなど学科がめざすコンピテンシーを意識したカリキュラムの実施
 - － 3つのグローバルキャリア・プログラムのスタート
 - － ネイティブによる少人数語学教育プログラム (Active Language Learning Program) の実施



国際英語学科
オンライン英会話ブース



2 学科合同留学事前事後研修



多文化コミュニケーション学科
アクティブ・ラーニング形式による授業

人間科学部

○ 学部全体

- ・ 人間という複雑で多彩な存在を学びの対象として、文理融合の質の高い学際的教養教育を推進
- ・ 4 学科それぞれの学びを深めつつ、20 年目を迎える学部としてのアイデンティティを大切に教育を推進

◆ 心理学科

- ・ 心理学の基礎から応用まで、幅広い領域を学ぶ教育を継続
- ・ より充実した公認心理師資格の取得に対応した授業・実習を実施

◆ 総合子ども学科

- ・ 多様な子どもの学問領域を理解の上で、実践力を身に付ける教育を実施
- ・ 保育士、幼稚園教諭、小学校教諭をはじめ、多様な領域で活躍する人材の育成を継続実施



総合子ども学科 甲南こども園での実習

◆ 文化社会学科

- ・ 社会学を中心として、社会の見方や社会との関わり方を考える教育を継続実施
- ・ 現代社会や文化に関して、学びに必要な資料の収集を継続実施

◆ 生活環境学科

- ・ 衣食住を中心に、より充実した多彩な領域から暮らし全体について学ぶ教育を実施
- ・ 持続可能な社会において求められる汎用性の高い生活スキルを養成するための学習環境を整備

看護リハビリテーション学部

○ 学部全体

- ・ 多職種連携教育（IPE : Inter - professional education）の推進
 - － 医療栄養学部や神戸薬科大学との合同授業の実施
 - － 積極的な FD の実施

◆ 看護学科

- ・ 看護実践能力の修得
 - － シミュレーターを活用した演習およびアクティブ・ラーニング^{※6}の推進
 - － 教員の専門分野を越えた協働的演習展開
 - － 国際的キャリアの探求



看護学科 シミュレーション教育

（※6）アクティブ・ラーニング：「学修者が能動的に学修することによって、認知的、倫理的、社会的な能力、教養、知識、経験を含めた汎用的能力の育成を図る」学修（能動的学修）のこと。具体的には、発見学習、問題解決学習、体験学習、調査学習、教室内のグループ・ディスカッション、ディベート、グループ・ワークなどをいう。新・学習指導要領では「主体的・対話的で深い学び」という表現を用いている。

◆ 理学療法学科

- ・ 臨床実習指導の強化
 - － 東灘次世代医療人材育成コンソーシアムを基軸とした実習指導の展開
 - － 模擬患者ではなく実際の患者への実践を組み込んだ実習前教育の実施
 - － 実習施設の開拓
- ・ 理学療法実践能力の修得
 - － 指定規則変更に伴う改正カリキュラムに基づいた教育の実施
 - － ウィメンズヘルスおよびスポーツリハビリに関する教育の充実
- ・ 広報活動の維持・活性化
 - － 現在の広報活動の継続と必要な項目の活性化



理学療法学科
テーピング実習

医療栄養学部

- 学部全体
 - ・『全人栄養教育』の実践
 - 全人栄養教育：知性と品格を磨き、他者を思いやる豊かな人間性と倫理性を養うとともに栄養学の知識と実践力を修得
- ◆ 医療栄養学科
 - ・医療職者としての管理栄養士を養成
 - 看護リハビリテーション学部との多職種連携教育で IPE (Inter-Professional Education) を推進
 - 早期体験学習による管理栄養士の職務の理解促進
 - 医療機関等での臨地・校外実習の強化
 - ・教育活動 (FD を含む) の強化
 - 専門基礎分野、専門分野の理解・習熟度の向上をめざした教育の体系化
 - 国家資格取得を基盤とし、現状の課題解決に向けた FD 研修の実施



医療栄養学科 食品官能評価実習

(2) 大学院教育

人文科学総合研究科

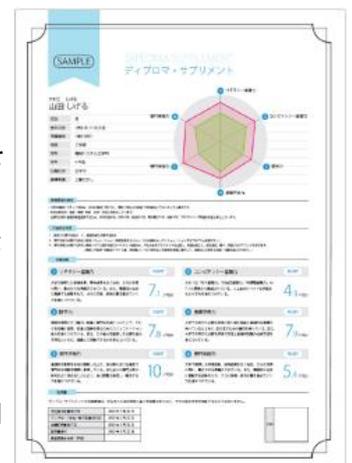
- 高度な専門教育・研究の深化に努めながら、全ての専攻コースでの定員充足を目指す
- 専門知識の修得を目指す多くの学生に対して、学びやすい環境作りと教育内容の充実と募集力の強化を実施

看護学研究科

- 院生の修士もしくは博士の学位取得を支援
- 博士前期課程では、豊かな人間性と倫理感を兼ね備えた質の高い教育・研究者を育成
- 博士後期課程では、看護学教育の質向上に貢献できる看護教育者、及び自律 (自立) した看護研究者、看護管理を育成

(3) 学修支援

- カリキュラム体系
 - ・建学の理念を反映した教育課程の体系化
 - 全学部・学科を結ぶ文理横断的学びを意識した新たな全学共通教育カリキュラムの開設
 - 各授業科目にレベルや内容を示す番号を付与
 - 各授業科目の関連性を明示するカリキュラムツリーの作成・提示
- アセスメント・テストの活用
 - ・アセスメント・テストの結果の経年変化に関する分析等、調査活動で得たエビデンスを根拠として、学修活動への支援を実践
 - ・文部科学省が予定している全国学生調査の実施も視野に入れ、学修状況に対する教員と学生の相互理解に基づく教育基盤の整備に寄与
- 学修成果の可視化
 - ・学修成果の可視化システム「みらいパス」の活用拡大を推進
 - 成績、ディプロマ・ポリシーをもとにしたレーダーチャート以外に、全学統一の活用を検討
 - 正課、正課外での学習・活動等の記録を学生が入力するポートフォリオの活用を拡大
 - 各学科での独自活用を検討



みらいパス
(イメージ)

○ コモンルーム

- ・キャンパスにおける日常生活の中で、学生と教職員が相互に学修し、社会人としての基礎力を身につけ、学科教育の理想の実現と学生の帰属意識を醸成する場とする
- ・学生の主体性、コミュニケーション能力、発信力の養成のための学修・生活スペースとして、教職協働で整備・活用を推進
- ・本年度開設の国際学部での取り組み
 - ◆ 国際英語学科
 - 全学の英語学習の拠点である“e-space”では、専門的見地から、英語力を高めるための環境をより充実させて学生の学びを支えていく
 - ◆ 多文化コミュニケーション学科
 - 新コモンルーム“D-commons”を配置し、学生の自主的で創造的な学びの拠点として活用を実施

(4) FD・SD活動

- [FD] (=Faculty Development) 教員が授業内容・方法を改善し向上させるための組織的な取り組み
 - ・授業公開や新任教員向けパンフレット作成といった従来の取り組みについて充実を図る
 - ・アクティブ・ラーニング等、近年の動向にも対応した試みを行い、効果的な活動を促進
 - ・授業評価アンケートに関して、結果を評価する体制を見直し、教職員や学生へのフィードバックの徹底を図る
- [SD] (=Staff Development) 教職員が職能を改善し向上させるための組織的な取り組み
 - ・教育研究活動およびその支援等の適切かつ効果的な運営を図り、必要な知識・技能の習得や能力・資質向上のため、以下を目的とした研修を実施
 - 3つのポリシーに基づく大学の取り組みの自己点検・評価と内部質保証に関するもの
 - 教学マネジメントに関わる専門的職員の育成に関するもの
 - 大学改革に関するもの
 - 学生の厚生補導に関するもの
 - 業務領域の知見の獲得を目的とするもの（総務、財務、人事、企画、教務、研究等）
 - ・職員人事制度に基づき、OJTによる人材育成を推進
 - ・組織責任者以外の職員に対して通信教育を実施（組織責任者は2019年度に実施）
 - ・職員の満足度調査を実施し、2015年の実施結果と比べ、課題形成
 - ・職員の適性テストの結果を踏まえ、研修体系をゼロベースで見直し、導入研修・メンター制度・フォローアップ研修・階層別研修・基礎的研修（ハラスメント研修、情報セキュリティ研修等）を企画・実施

(5) 国際交流の推進

- 国際学部との連携強化
 - ・国際学部認定留学プログラムのサポート体制を整備
 - 関係部署との連携強化
 - 募集から派遣までの留学プロセスの実践- 学科と連携した留学事前・事後学習の実施
 - ・希望するすべての学生が留学できる留学制度を整備
 - ・国際学部留学率50%に向けた各種施策の検討
- 海外有力大学との連携強化
 - ・9カ国の提携校との連携強化および新規連携先を開拓
 - 提携各校との連携協定の維持・更新
 - 100周年記念祝賀ムービーの作成、披露
 - 新規連携に向けた積極的協議
 - 海外担当者との交流を通じた本学のプロモーションの実施、ノベルティの作成



オーストラリア・ウロンゴン大学との
大学間連携協定締結

- ・新規提携校アメリカ3大学、韓国1大学との留学をスタート
- 海外留学危機管理の強化
 - ・安心・安全な留学を掲げた危機管理を徹底
 - 海外での緊急事態発生における学生の意識向上
 - 海外での緊急事態発生における教職員の意識向上
 - 危機管理シミュレーション2020の実施

○ 長期派遣

種類	派遣国	留学先・コース名	期間	時期
交換留学	フランス	パリ大学	6ヶ月/1年	後期出発
	韓国	淑明女子大学校	4ヶ月/10ヶ月	前・後期出発
		誠信女子大学校		
	中国	天津外国語大学	5ヶ月/11ヶ月	前・後期出発
認定留学	アメリカ	※新規(SAF)オレゴン大学	7ヶ月/1年	前期出発
		※新規(SAF)カリフォルニア州立大学サンマルコス校	6ヶ月/10ヶ月	前期出発
		※新規(SAF)カリフォルニア州立大学ロングビーチ校	5ヶ月/9ヶ月	前期出発
	カナダ	リジャック大学 ESL	7ヶ月/11ヶ月	後期出発
	フランス	ナント大学 SUL	7ヶ月/11ヶ月	後期出発
	イギリス	リーズ大学 ランゲージセンター	5ヶ月/10ヶ月	前期出発
	アイルランド	ヨーク大学 ランゲージセンター	7ヶ月	後期出発
	ニュージーランド	CCEL クライストチャーチ校	6ヶ月/1年	後期出発
		ウェリントン・ヴィクトリア大学		前期出発
	韓国	淑明女子大学校国際言語教育院	6ヶ月/1年	前・後期出発
		※新規 梨花女子大学言語教育院	6ヶ月/1年	後期出発
	中国	天津外国語大学国際交流学院	5ヶ月/11ヶ月	前・後期出発
		復旦大学 国際文化交流学院		前・後期出発
	インドネシア	ガジャマダ大学 INCULS	5ヶ月/11ヶ月	後期出発

※上記のほか、短期派遣として海外演習（語学研修）、スタディーツアー、海外実務研修等を実施

(6) キャリア教育

文学部・国際学部・人間科学部（総合子ども学科以外）

- 昨年度から見直しにより8科目から5科目に集約したキャリア関連科目の質向上
- 学生一人ひとりのさらなる職業観・勤労観の醸成と、社会的・職業的自立を目指す
- 資格取得は、新しい業務委託先による学生サポートを進捗し、状況分析見直しを実施

◆ 総合子ども学科

- ・模擬試験や対策講座等を通して公立幼保採用試験、小学校教員採用試験の支援を行い、学生のキャリア発達を促す
- ・保育所、幼稚園、小学校、子ども関連企業に勤める卒業生が、キャリアモデルとして、体験談等を実施
- ・保育・教育実践力の向上を目指して、実習前には近隣の保育所・幼稚園・小学校での観察実習へ参加を促す・学科が主催している現職教員向けの教員セミナー・子育て支援講座等への主体的な参加を奨励

看護リハビリテーション学部

◆ **看護学科**

- ・看護専門職としてのキャリア教育
 - 4 職種（看護師・保健師・助産師および養護教諭）の自己選択を促す支援を初年次から開始
 - 将来像を描けるように卒業生や現任者をモデルとして提示しイメージ化を促す支援
 - キャリアプランワークシートを用いた個別支援
- ・学内就職説明会の開催
 - 国家試験対策の実施
- ・グローバルキャリア教育
 - 国際的な活動の支援
- ・就職後の継続的な看護実践能力の向上
 - 看護学実習ポートフォリオの活用

◆ **理学療法学科**

- ・理学療法専門職としてのキャリア教育
 - 国家試験合格率向上のための CBT (Computer-Based Testing) 方法の改正
 - 国家試験合格率向上のためのアドバイザー教員による学生の個別支援の実施
 - 就職説明会の開催
- ・就職後の継続的な理学療法実践能力の向上
 - 卒業生の認定・専門理学療法士取得などキャリア支援の実施
 - 学術活動などの多様なキャリア形成支援の実施
 - 臨床実習指導者講習会を開催し、卒業生、実習施設の実習指導者資格取得の支援を実施

医療栄養学部

○ 管理栄養士としてのキャリア意識の醸成

- ・1 年生：多様な現場で活躍する管理栄養士を招聘し、管理栄養士業務の内容や意義に関する講義で資格取得に対する動機付けを行う
- ・2 年生：医療・食関連施設の見学実習や資格を活かした職を中心においたキャリアガイダンスを開催し、自身の未来を具現化
- ・学年進行に合わせて医療専門職業人となるためのマナー講座、文章作成講座や、地域連携活動などを提供し、社会人基礎力の強化と社会性の獲得

2. 研究体制

(1) 学内の各種研究助成による研究支援

- 学術研究及び教育振興奨励基金、国内・在外研究員制度等の各種研究助成の制度について、これらの趣旨に相応するよう、適切な運用を図ることにより、研究活動の充実を推進
- 大型の外部資金の獲得に繋げる事も想定し、助成対象とする研究課題、審査方法、執行方法等を点検
- 政府科学研究費補助金及び民間財団等研究助成等の大型科研費等の獲得と推進
 - ・医療栄養学部を中心とした、大手製薬会社、食品会社、公的研究機関等からの研究を受託・推進中、さらなる新規科研費の獲得を目指す



医療栄養学部での研究風景

(2) その他の研究助成

- 公募推奨や情報の収集並びに共有化を進めるとともに、科学研究費助成事業(科研費)を始めとする外部研究資金の

獲得に向け、外部の専門機関による申請のフォロー等、確実な採択率の向上に至る支援策を実施

- 研究活動における人権の保護及び法令遵守の徹底を図り、研究倫理、動物実験、遺伝子組換え実験や不正防止等への対応に関して、実効性のある取組みを推進

3. 学生支援活動

(1) 学生生活支援

- 学生の状況をきめ細かくフォローし、退学・除籍率の低下を目指す
- 成績が振るわない学生に対して、アドバイザー教員・関係部署と情報共有を行い、個別支援の強化を実施
- 奨学金事業
 - ・ 国の修学支援新制度を最大限に活かせるように本学独自奨学金を見直し、より手厚い就学補助につながるよう運用を変更
- 学生寮運営事業
 - ・ 2024 年 2 月末に建物賃貸契約の満了をもって学生寮を閉寮、寮に替わる新しい遠隔地出身学生の支援方法を検討
- 学生の安全確保
 - ・ 学部 1 年生全員を対象とした避難訓練を教職員参加のもと継続実施
- 学生サービスの充実
 - ・ 学生が活用できるスペースとして、第一学生会館 4 階の活用方法を検討
 - ・ 学内専用移動傘の利用頻度が高い事から、耐久性が高い傘に変更の上、設置本数を増やす
 - ・ 教育後援会の補助による 100 円朝食提供（春季・秋季）を継続実施学生の健康環境の向上を目指す
 - ・ 女子特有の困り事の対応として、各学科のコモンルームを相談・解決窓口とした支援を実施
- 保健センターの運営
 - ・ からだの支援室においては従前の実習先に加え公認心理師及び管理栄養士の実習が本格化し、大幅に抗体検査受入件数が増加する為受け入れ態勢を強化・こころの支援室においては相談件数の増加及び内容の複雑さから、体制の強化を実施
 - ・ からだの支援室とこころの支援室双方にまたがる相談が増加していることから、センター内会議で連携を強化



学内専用移動傘



100 円朝食の提供

(2) キャリア支援

- キャリアセンター
 - ・ 企業等訪問、学内企業セミナーを拡充し、企業等との関係性を強化し、優良企業等の掘り起こしを実施
 - ・ 企業等情報の収集力・研究力・分析力を強化し、学生へフィードバックするためのカウンセリング能力を高め、学生相談体制を強化
 - ・ キャリア関連科目やキャリアセンター主催の各講座の学生受講者を増やし、多くの学生が不得意とする就職筆記試験への突破力を向上
 - ・ 保証人説明会の開催等、学生への影響が強い保証人へのアプローチを強化



企業との提携セミナー

○ 教職支援課

- ・ 現任教員や保育士との交流の場を設け、ロールモデルを提供
- ・ 教員採用試験、公務員試験（保育士）合格者、私立幼稚園・保育所内定者による合格体験談を公表する機会を設け、在学生の採用試験の受験意欲向上の為の取組みを実施
- ・ 外部業者に委託している教員採用試験対策講座を大幅に見直し、学生のニーズに合った講座を提供
- ・ 教員採用試験受験を目指す学生の自主学習サークル“Teacher’s Café”の企画や運営を通して、同じ目標をもつ学生の仲間づくりと中高教員採用試験合格への道を支援
- ・ キャリアセンターとの連携により、保育士・幼稚園教諭の過去の就職関連情報にアクセスしやすい環境を提供
- ・ 神戸親和女子大学との協定による小学校教員一種免許状取得プログラム（対象：2020 年度以降入学者の国際学部国際英語学科、文学部日本語日本文化学科の中高教職課程履修者）の学内広報活動を開始し、教員を目指す際の選択肢の拡大を実施



幼保実践講座



現職教員の先輩との交流会



Teacher’s Café での勉強風景

4. 高大接続・学生募集

(1) 高大接続改革

○ 高大接続改革の推進

- ・ 高等学校教育と大学教育の連携強化に向けた新たな高大接続講座の実施
 - － 兵庫県下の高校を中心に連携を強化、新規連携校の獲得を目指す
- ・ 大学入学後の学修をスムーズに開始できるよう入学前教育を充実
- ・ 高大接続改革の趣旨に沿った新たな入試制度の実施

○ 高大連携講座の推進

- ・ 甲南女子高校3年生を対象とした授業を全学部より提供
- ・ 甲南女子高校との大学講座における授業アンケートの実施及びフィードバック
- ・ 科目等履修生制度を利用した学部授業での高校生受入れ制度について検討
- ・ 大学入学後の既修得単位認定の実施

(2) 学生募集活動

○ 学生募集活動の強化

- ・ 高校訪問を通して高等学校とのコミュニケーションを強化
- ・ 近畿地区を中心に中国、四国及び九州地区の訪問を実施
 - － 塾、予備校への訪問を強化
- ・ 高等学校の学び・特色と受験生の志望動向に対応したきめ細やかな学生募集活動の実施
- ・ オープンキャンパス来場者の増加に向けた新たなコンテンツの開発

○ 外国人留学生の獲得

- ・ 東アジアを中心とした海外での学生募集活動の実施
 - － 上海・香港（中国）、台湾を中心とした、外国人留学生の戦略的獲得のための活動、プロモーションを推進（Skype 等も駆使し（香港）、地域等のニーズに合わせた募集活動も実施）



上海での本学ブース

(3) 広報活動

- 学生募集広報
 - ・ 受験情報誌等の従来型広告の見直しと費用対効果の向上
 - ・ 高校を起点にした位置情報を活かした PR 展開
 - ・ 受験生の心理動向を念頭に置いた、オープンキャンパス年間 PR 計画の充実
 - ・ web・動画の活用により、紙媒体への依存度を下げた機動的な PR 展開
 - ・ 2020 年度新設の国際学部 PR の継続
 - ・ 医療系学部の一層の認知強化を目指した PR の継続
- 一般広報
 - ・ プレスリリースの積極活用によるマスメディアへの情報発信
 - ・ SNS の活用による情報拡散の更なる充実
 - ・ 当該年を迎えた学園創立 100 周年ブランディング活動の完遂



5. 環境整備

(1) キャンパスの整備

- 環境の向上
 - ・ 経年劣化が目立つ空調機器の改修として、9号館のGHP機器の改修を実施
 - ・ 学習環境の改善として、3号館の教室設置椅子の改修を実施
 - ・ 経年劣化で老朽化が目立つトイレの改善として、7号館2階・3階の改修を実施
- 建物維持管理
 - ・ 経年劣化による老朽化が目立つ建物に対して、機能改善の為の適時修繕や改修工事を実施
 - ・ 経年劣化で老朽化が目立つサッシの改善として、5号館北面・東面の改修を実施

(2) 情報インフラ整備

- 講義室の AV 機器更新
 - ・ 経年劣化による機器のトラブル改修を目的に、3号館7室（中教室）をアナログ環境からデジタル機器環境へ更新
- 情報セキュリティ
 - ・ 仮想基盤の OS 更新によるセキュリティの向上
 - ・ 情報漏洩に関する講習会等を実施、教職員のセキュリティに対する意識の向上を推進
- 無線 LAN の拡充
 - ・ 自主学习増加による利用者対応のため、学生の要望が多い箇所を中心に無線 LAN 環境の拡充を実施

6. 地域連携・社会貢献活動

(1) 地域連携・社会貢献活動の推進

- 震災復興支援事業
 - ・ 学生の防災意識喚起および復興支援事業の推進
 - － 東日本大震災 10 年に向けてのイベント実施
 - － 学生参加によるワークショップの実施
 - － 企業と連携し、地域のニーズに合わせた事業の展開
 - － 復興支援チャリティコンサートの実施
- 生涯学習講座
 - ・ 東灘区との連携のもと生涯学習講座（年間 4 回）を実施
 - － 地域のニーズに合ったテーマの設定、講師派遣



クリスマスチャリティコンサート

- 交通の便の良い東灘区民センターでの実施
- チラシ、HP 等での広報、東灘区役所への広報協力要請

○ 教職支援

- ・ 教員免許状更新講習
 - 選択領域の講座数を増やし、受講者のニーズに対応
 - 卒業生の優先的受け入れ制度を開設
 - 講習の質の担保とさらなる内容の充実推進
 - 迅速で的確な対応を行うため、教員免許更新講習の事務作業に特化した事務システム導入の検討を実施



生涯学習講座

(2) 産官学連携

○ 学内における社会連携事業一覧 (CCR:Community Connections Register) の集約と活用

- ・ CCR 情報の学内情報共有および有効活用の促進
 - 学内における CCR に関する情報の調査および集約
 - CCR の学内共有および公開

○ 大学都市 KOBE! 発信プロジェクト

- ・ グランフロント大阪ナレッジキャピタルでの展示および合同イベントへの参画
 - 神戸市および神戸 7 大学と連携し、夏休みの合同イベント (1 日) を実施
 - 展示スペース (1 か月間) 企画、調整、展示実施
 - ナレッジキャピタル定例ミーティングの本学開催 (年 1 回)



ナレッジキャピタル展示



ナレッジキャピタル合同イベント

○ 東灘次世代医療人材育成コンソーシアム事業の推進

- ・ コンソーシアム内の豊富な人的資源の共有と活用
- ・ チーム医療をテーマとした公開講座の実施

○ 兵庫県多可町との地域連携協定の推進

- ・ 本学学生、留学生による農業体験、町民との交流、村おこし各種イベント等の実施

○ 教育・研究支援

- ・ 受託研究、共同研究、寄附講座、奨学寄附金等の受け入れを推進
- ・ 研究活動について積極的に学外へ発信し、産官学連携を推進

7. 管理運営

(1) 学園の管理運営体制

○ 私立学校法改正 (2020 年 4 月 1 日施行) に伴う、適正な学校法人運営に取り組む

- ・ 理事の利益相反取引に関する適切な対応
- ・ 理事の競業に関する適切な対応
- ・ 寄附行為の公開等、法令を遵守した情報公開を実施

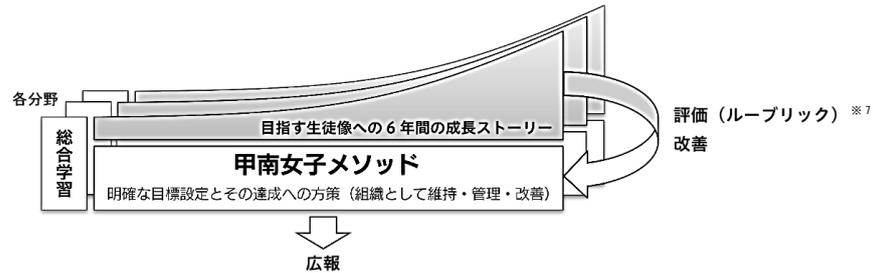
(2) 人事制度と労働環境の維持

- 職員人事制度
 - ・ 2019 年度の目標管理や人事考課結果を踏まえ、人材育成に取り組む
 - ・ 「求める職員 像」を基軸に、ハイ・パフォーマー育成のため、各階層における人材要件（コア・コンピテンシー）を検討
- 労働環境の維持向上
 - ・ 「教職員の健康管理」を最重要課題とし、教職員一人ひとりが持てる職能を存分に発揮できるよう、労働環境の維持向上を図る
 - ・ 年次有給休暇の取得推進や過半数代表者による意見聴取等、当学園の教職員に即した働き方改革を具体化し、実行

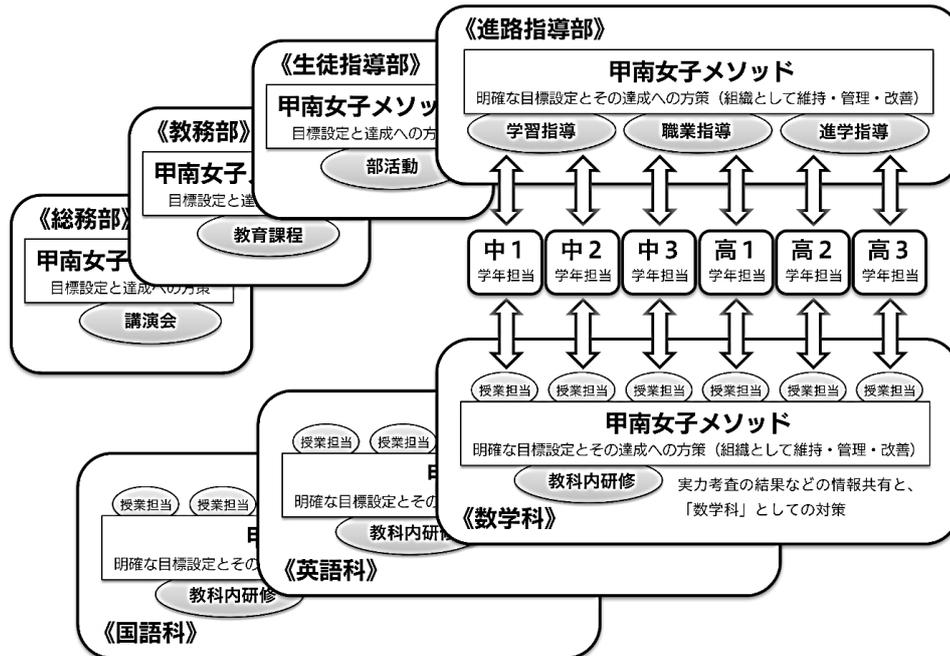
IV. 中学校・高等学校

中学校・高等学校においては、「建学の理念」に沿った「新しい時代の甲南女子教育」の実現を目指す。2019 年度に引き続き、「甲南女子メソッド」（「学力形成」、「人間形成」の各分野の学びについて、中高 6 ヶ年の各段階の明確な目標設定とそれを実現するための方法群）の開発、策定、実践を進める。その際、IGT を活用して、生徒・保護者アンケート、生徒・教員の授業評価や振り返りなどの情報収集に取り組み、「メソッド」に沿った教育実践の効果を検証する。それらの取り組みや検証結果を中学受験生、在校生、その保護者に周知を図ることで、入学競争率や学校生活満足度の向上を目指す。また、老朽化した施設・設備を改修し、有効活用することで、幅広い教育活動を展開する

『甲南女子メソッド』



『組織力』の強化(『甲南女子メソッド』を生かすために...)



甲南女子メソッドコンセプト図

(※7) ルーブリック：
 生徒の学習到達状況を評価するための、評価基準表のこと。
 複数の評価項目にたいして、それらの到達レベルを何段階かで定義し、それぞれの到達レベルを具体的なパフォーマンス（行動や内容）の特徴として表したものの。

1. 教育課程

(1) 新しい時代の教育課程の編成

- 新学習指導要領（中学校 2021 年度より全学年、高等学校 2022 年度入学生から学年進行）への準拠
 - ・教科横断型の授業展開、学校設定科目の開発
- 各教科の「甲南女子メソッド」の反映
- 6 カ年で「生徒につけさせたい力」（2018 年度プロジェクト策定）の強化
 - ・「課題発見力・解決力」
 - ・「コミュニケーション力（プレゼン力・表現力）」
 - ・「リーダーシップ」
 - ・「英語力（語学力）」
- 総合学習検討委員会（2019 年度）の提言に沿った「総合的な学習の時間」（中学校）、「総合的な探求の時間」（高等学校）の検討

2. 授業力向上

(1) 各「教科会」の活性化

- 新学習指導要領に対応した授業方法およびテストの出題方法の検討
- 教科指導における ICT 活用の推進
（プロジェクター、電子黒板、タブレット、ネットワークの活用）



タブレットを活用した授業

(2) 授業評価（授業アンケート）

- 実施方法の見直し（ICT 活用など）
- アンケート項目の見直し

3. 総合学習

(1) フィールドワーク・対話を重視した「人間教育」

- 「平和」（中学 2 年生）
 - ・地域学習（阪神・神戸地区の 5 か所に分かれて一日研修）
 - ・広島研修旅行（学年全体・コースごとの講話、被爆ピアノコンサート等）
 - ・中学 1 学年へのプレゼンテーション
- 「保育」（中学 3 年生）
 - ・保育実習（阪神間各地のこども園・保育所・幼稚園で実習）
- 「探求」（高校 1 年生）
 - ・講座別活動（5 講座、一日研修）
 - ・水俣研修旅行（「聴く」活動とプレゼンテーション等）
 - ・甲南幼稚園、甲南女子大学人間科学部心理学科との連携



フィールドワーク実施風景

(2) 新教育課程への対応

- 教育方針「自学創造」の継承
- 新教育課程の「総合学習」、「総合探究」に沿った更なる「学び」の構築

4. 生徒指導

(1) 建学の精神と生徒指導

- 建学の精神「まことの人間をつくる」に基づく人間教育の実践
- 社会生活上の基本となる学校生活（挨拶・清掃・整理整頓・無遅刻など）の指導

(2) 教育方針と生徒指導

- 教育方針「全人教育」「個性尊重」「自学創造」に基づく生徒指導上の情報共有や共通理解の徹底
- こころの教育の充実

(3) 不登校・いじめ防止対策等

- 生徒が安心して通学し成長できる環境の向上
- 教員の連携と問題の早期発見・早期対応
 - ・「教育相談委員会」「いじめ対策委員会」を機軸とした適切な対応方法の検討
 - ・担任、学年団、生徒指導部、養護教諭、スクール・カウンセラーの情報共有
 - ・「いじめに関するアンケート」の実施

(4) 防災・安全対策

- 生徒の安全対策として、登下校時の見守り
- 部活動で遅くなった場合の集団下校を徹底
- 防災・避難訓練、救命方法の講習を実施

(5) 主体性と自立

- 学年・コースの枠を越えた生徒主体の学校行事・生徒会活動等の充実
- 自立した女性の育成

5. 国際交流

(1) 異文化理解

- 多岐にわたる国際交流の場を計画
 - ・長期留学：イギリス
 - ・中期留学：オーストラリア、シンガポール・韓国・ドイツ（以前は長期留学）
 - ・短期留学派遣
- 協定校との相互のメリットを目指した交流
 - ・留学派遣と来日ツアーの受け入れ
- ホストファミリーの確保（来日ツアー受け入れ時）
 - ・親子ともに外国人生徒の受け入れ経験が大いに価値のあることを周知

(2) 2020年度留学日程一覧

内容		留学先	期 間
送り出し	《協定校》 中長期留学 (高1~高2)	セント・マーガレット(2名) /オーストラリア	2020年7月12日~9月12日
		南洋女子(2名)/シンガポール	2020年8月2日~8月29日
		クイーンズウッド(1名)/イギリス	2020年8月下旬~2021年7月上旬
		培花女子(2名)/韓国	2020年8月下旬~9月中旬(予定)
		ボンフェッファーギムナジウム(1名) /ドイツ	2020年は無し
	中長期留学 (高1~高2)	YFU 日本国際交流財団/アメリカ他	2020年9月1日~2021年8月31日
短期留学 (中3~高2)	オーストラリア研修/オーストラリア	2020年7月25日~8月9日	
受け入れ	《協定校》 中長期受け入れ	ボンフェッファーギムナジウム(1名) /ドイツ	2020年は無し
		セント・マーガレット(2名) /オーストラリア	2020年9月20日~11月20日
	《協定校》 学校訪問来日ツアー	南洋女子(20名以内) /シンガポール	2020年は無し
		シドニーガールズスクール /オーストラリア	2020年は無し
		培花女子/韓国	2021年1月下旬または2月(予定)
	短期受け入れ協力	ハワイ・ル・ジャルダン(甲南 高校姉妹校)/アメリカ	2020年は無し
YFU 日本国際交流財団		2020年6月下旬(予定)	
学外プログラム	短期留学 (中1~中2)	LA 語学研修/アメリカ	2021年3月27日~4月4日
	個人留学	Bell-Bloxham/イギリス	2020年7月下旬~8月中旬 2020年8月中旬~8月下旬
		Bell-Wellington/イギリス	2020年7月下旬~8月中旬
		Bell-Leys/イギリス	2020年7月下旬~8月中旬
		Bell-St. Albans/イギリス	2020年7月下旬~8月中旬
		International House/イギリス	2020年7月下旬~8月中旬

6. 進路指導

(1) 進路指導システムの確立

- 管理職、進路指導部、担任団の連携強化

(2) 基礎期における学習習慣の確立

- 本校でのあるべき学習方法を明確にし、定着をはかる
- 「スケジュール帳」を活用した時間管理の指導を実施
- 学力推移調査における学習習慣調査の分析結果の共有

(3) 「キャリア教育」の体系化

- 「キャリア教育」体系化の軸
 - ・『社会を知る・考える』
 - ・『思考・判断・表現のスキル育成』
 - ・『自分を知る・深める』
- 「志望理由書作成」プログラムの検討
- 早期医療体験プログラム、日経ウーマノミクスフォーラムへの参加

(4) 教科指導の充実

- 新学習指導要領に向けた教育内容・方法などの研究を促進
- 模擬試験を活用した弱点補強、振り返りの実施

7. 生徒募集対策

(1) 広報活動

- 本校の充実した教育環境や取組みの積極的な発信
 - ・ホームページ：時代に応じたメディアの利用
 - ・学校説明会、オープンスクール：生徒の生き生きとした活動の公開
 - ・校外説明会、塾訪問：足を運び、子供を育てる目線で甲南女子を伝える地道な広報活動
- 創立 100 周年関連の発信
 - ・「人間教育」を軸とした 100 年の伝統の周知
 - ・生徒たちの今をリアルに伝える：生徒のボランティア活動「100 周年記念実行委員会」

8. 施設・設備

- 生徒主体の対話型授業を促進する教室環境の整備
 - ・老朽化した視聴覚教室の改装
 - ・「総合的な学習・探究の時間」におけるアクティブ・ラーニングを行うための教室への改装

9. 高大連携

(1) 生徒対象

- 講堂朝礼を利用して甲南女子大学の学部紹介を実施
 - ・看護学科による中 3 衛生講話、医療栄養学科による高 2 選択授業などの実施
- 総合学習における連携を検討

(2) 学生対象

- 「教職実践演習」、「教職論」、「心理実習」等へ本校教員を講師として派遣

10. 部活動

- 「部活動ガイドライン」に基づく指導方針を遵守
- 組織の一員としての役割や人間関係の学びの場を提供
- 技能の研鑽を通じた自己実現の場として、学習との両立を支援

以上